

# 大阪府景気観測調査結果

平成22年10～12月期

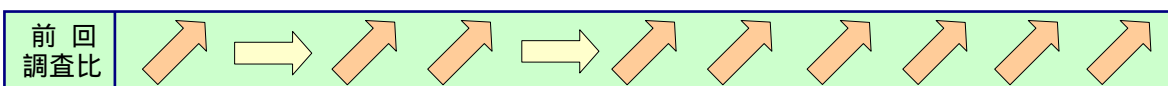
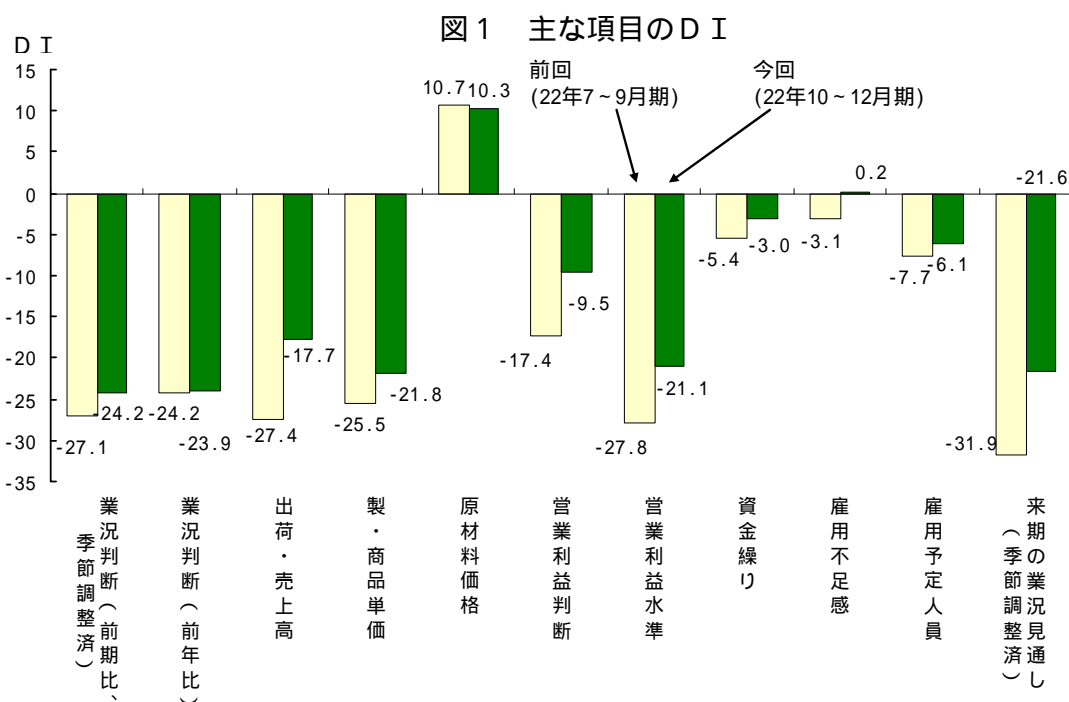
商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成22年10～12月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト

<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaiyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

## 景気は一部に弱めの動きがあるものの、再び持ち直し傾向に

業況判断D Iのマイナス幅は2期ぶりに縮小した。出荷・売上高D Iや製・商品単価D I、営業利益判断・水準D I、雇用不足感D Iは上昇傾向にある。ただし、営業利益水準は依然低い。なお、来期の業況見通しは、今期同様に改善が続く見通し。



前回発表の「大阪府景気観測調査結果（平成22年7～9月期）」では、調査票の一部に誤った選択肢があったことにより雇用不足感D Iに誤差が生じている可能性が高かったため推計値を掲載したが、今回改めて、同項目について調査を行い、その結果を7～9月期の雇用不足感D Iとして掲載している。（前回発表では -3.6、今回発表では -3.1。）

調査結果に関するお問い合わせは (06)6947-4363

商工労働部(大阪産業経済リサーチセンター)経済リサーチグループまで

22年4月、旧の府立産業開発研究所は商工労働部総務課に統合し、「大阪産業経済リサーチセンター」として再編されました。